

第2回 嘉麻市森林・林業・林産業振興協議会 会議録

1. 審議会等の名称 嘉麻市森林・林業・林産業振興協議会
2. 開催日時 令和8年3月19日(木) 14時～15時
3. 開催場所 嘉麻市役所 5階 委員会室1
4. 公開又は非公開 公開
5. 非公開の理由 (会議を非公開とした場合のみ)

6. 出席者

(1) 委員

会長：坂田 裕輔 (WEB 出席) 副会長：豊田 一元
平畑 英幸、山田 久能、大里 正裕、原田 あかね、松永 愛音、有田 芳行、
坂本 住夫
(欠席委員：大里 茂晴、橋本 武彦、田中 都幸)

(2) 執行機関

農林振興課 課長 飯田 康宏 係長 長野 卓
林務係 立林 政則

7. 傍聴人数 0人

8. 議題及び審議の内容

【次第】

1. 副会長あいさつ
2. 議事
 - (1) 嘉麻市森林(もり)づくり基本計画【中間見直し】後の実績について
 - (2) 第2次 嘉麻市森林づくり基本計画策定について
 - (3) その他

【審議内容】

1. 副会長あいさつ
 - 豊田副会長
坂本会長が、都合によりパソコンを利用したWEB出席になったため、代わりにあいさつします。来年度に向けた議題もあるようですので、審議方よろしくお願ひします。
2. 議事
 - (1) 嘉麻市森林(もり)づくり基本計画【中間見直し】後の実績について
 - 事務局
基本計画「中間見直し」後、令和7年度における実績について、進捗表に沿って説明。

○有田委員

進捗表の中には、森林環境譲与税を活用した事業が記載されていないが、どのようなことを行っているのか？

○飯田課長

基本計画を策定した時には森林環境譲与税がなく、中間見直し時にも元の計画に沿った見直しを行ったため、譲与税事業に関する記載がない。譲与税の譲与は令和元年に始まり、嘉麻市では、令和2年度から市有林整備や木製品の利用促進。森林経営管理制度に則った意向調査とその結果に基づく特定調査。放置竹林対策事業を行ってきている。

現在、意向調査・特定調査が終了し、その結果に基づいて、福岡県の森林環境税を活用した森林整備に移行している。これまでこの調査にかかっていた予算の使途を検討する時期になっているため、課題の竹林対策等、本協議会でしっかり語りたいと思う。

○豊田副会長

森林環境譲与税の譲与額はどのくらいか？

○事務局

基金の積立額はこの場では即答できないが、単年度の譲与額は三千万円ぐらいです。

○豊田副会長

—— 質問・意見等なかったため、会議に語り、議題（1）について了承。

（2）第2次 嘉麻市森林づくり基本計画策定について

○事務局

第2次嘉麻市森林づくり基本計画策定について、レジメに沿ってスケジュール、協議の進行等について説明。

○大里委員

議題（1）の中で、竹林対策という話があったが、この竹林の整備について指標を設けられないか？

○事務局

現在、「荒廃竹林の整備」という目標値で、人工林に侵入した竹を荒廃森林整備事業で実施する侵入竹の除伐面積を計上しているが、竹林自体の対策の指標は設けていない。次期計画では、竹林対策の目標値を設定したい。

○有田委員

竹林の拡大が進み、整備が追い付かないのが現状。ただ切るだけではなく、宮野地区で行われているメンマづくり等、竹の利活用に結び付けていく活動の拡大も目標値として必要ではないか？

○事務局

次期計画では、現行の人工林に侵入した竹の除去だけではなく、竹林の拡大対策や整備、タケノコ等の林産物の生産や利活用についても目標を設けたい。

○飯田課長

竹は、その活用が注目されると同時に、荒廃が課題となっている。今のところ、竹林の拡大に効果的な手立てがなく、点々とした活動になっている。これをどう面的に展開していくかも問題だ。森林環境譲与税を使ったモニタリングというか林分調査が出来ないか、先行した取り組みを進めている北九州市の事例等を参考に、次期計画に盛り込みたい。

○豊田副会長

—— 質問・意見等なかったため、会議に諮り、議題（２）について了承。

(3) その他

○豊田副会長

その他の項目ですが、委員さんから何かありますか？

○有田委員

竹の話に戻って恐縮ですが、以前、地元の団体で「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」の補助を受けて、5ha ほど竹林を整備した。その竹をチップにして、ハウス栽培のトマト生産に活用した。この竹チップ、竹パウダーの活用が出来ないか。最近、若い方が嘉麻市に移住して農業を始められている。そういった所と竹林対策とを結びつけていけないか？ と考えている。

○大里委員

林業研究会でも放置竹林対策事業を実施した。切った竹を粉砕機にかけ、山積みになった竹紛を見て、何かに使えないかと考えている。一例としては、夏になると、竹紛の山からカブトムシがたくさん出てきている。切るだけではなくその利用、出口まで考えることが重要と思う。

○坂本顧問

八女市の立花バンブー、北九州市の竹炭、バイオマス発電等、先行事例はあるが、取り組みには限りがあり、大々的に行うことは難しい。出口と言っても、どこまで需要があるか分からない。竹あかり、糸島のメンマ等、色々なチャンネルを活用する必要がある。

○飯田課長

直轄地区で、竹紛肥料を作っているところがある。そこへ嘉麻市から竹を供給するというのも一つの手ではないか。また、泉河内では、生産者が竹チップを撒き、竹林の地面を保温して早出しのタケノコを生産している事例もある。この方法によるタケノコ生産は、大きな利益を得られるので、生産者の方は他の人にも広げたいと考えているが、労力があるので誰も手を上げない。顧問が言うように、色々な取り組みを会議の中で提示できればと思う。

○豊田副会長

そうした内容を、第2次計画の中に取り込みたいですね。

ほかに、委員の皆さんから質問・意見等ないようでしたら、第2回目の会議を終了します。
お疲れさまでした。

閉 会

9. 配布資料

- ・令和7年度 第2回 嘉麻市森林・林業・林産業振興協議会 レジメ
- ・嘉麻市森林(もり)づくり基本計画 [中間見直し] 概要版
- ・嘉麻市森林づくり基本計画 [中間見直し] の目標に対する実績 (進捗表)